

令和5年3月6日

子供読書活動推進に関する調査の集計結果（速報値）について

都教育委員会では、都内における児童・生徒の読書状況、公立学校や公立図書館等における子供読書活動取組状況を把握し、今後の施策に活用するため、令和4年9月に「児童及び生徒の読書の状況に関する調査」等を行いました。

この度、その集計結果の一部をとりまとめましたので、お知らせします。

なお、集計結果の詳細については、令和5年3月下旬に公表予定です。

1 調査内容

（1）目的

都内における児童・生徒の読書状況、公立学校や公立図書館等における子供読書活動取組状況を把握し、今後の施策に活用する。なお、今回の調査においては、公立学校における新聞配備の状況についても併せて調査を行った。

（2）実施期間

令和4年9月上旬～9月中旬

（3）対象

ア 読書状況調査

都内公立学校の児童・生徒（高校2年生のみ全数調査、他学年は5％を目安に抽出）

イ 読書活動取組状況調査

都立学校及び都内公立学校、区市町村教育委員会、区市町村読書活動主管課（図書館等）

2 調査結果の主なポイント

（1）児童・生徒の読書状況について

ア 1か月間に「本」を読んでいない児童・生徒の割合

(%)

	平成 25年度	27年度	29年度	令和 元年度	4年度	第4次計 画目標値
小学校 第2学年	2.6	3.3	3.3	2.9	4.4	1.3
小学校 第5学年	5.4	5.0	3.7	4.2	5.1	2.7
中学校 第2学年	13.2	11.1	11.1	9.9	10.3	6.6
高等学校 第2学年	31.8	36.8	28.8	30.6	33.4	15.9

- ・ いずれの学年も第4次計画目標値（令和7年度時点）には届いていない。
- ・ いずれの学年も令和元年度に比べて割合が増加した。

＜参考＞全国における1か月間に本を読んでいない児童・生徒の割合（全国学校図書館協議会「学校読書調査」）

(%)

	平成 25年度	27年度	29年度	令和 元年度	3年度	4年度
小学生	5.3	4.8	5.6	6.8	5.5	6.4
中学生	16.9	13.4	15.0	12.5	10.1	18.6
高校生	45.0	51.9	50.4	55.3	49.8	51.1

※小学生は4～6年生が対象。令和2年度は未実施

イ 「本」を読まなかった理由（複数回答可）

(%)

理由	元年度	4年度
読みたい本がなかったから	37.0	39.5
本を読む時間がなかったから	36.2	33.9
本を読むことに興味がないから	39.1	41.1
文章を読むこと、字を見ることがきらいだから。めんどうだから	16.9	16.8
どれもあてはまらない	9.3	7.0
無回答	4.9	4.4

- ・ 全体的に「本を読むことに興味がない」「読みたい本がなかった」という回答が多く、割合も増加した。

【備考】

- ・ 「本」は、授業中に読んだものや、教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集・絵だけの絵本、画集は「本」に含まない。電子書籍は「本」に含む。
- ・ 集計結果は、義務教育学校、中等教育学校の児童・生徒を含む数値
- ・ 計画目標値は、第四次東京都子供読書活動推進計画（第四次計画）（令和2年度～令和6年度）において、令和7年度までに、第三次計画に引き続き平成25年度からの半減を目指して目標値を設定

(2) 公立学校の新聞配備の状況について

ア 学校図書館、普通教室いずれかに新聞を配備している学校の割合

(%)

小学校	60.0
中学校	73.9
高等学校	100.0

- ・ 学校図書館及び普通教室への新聞の配備状況は、各校種とも令和2年度における全国平均を上回っている。

＜参考＞全国における学校図書館、普通教室いずれかに新聞を配備している学校の割合（文部科学省「令和2年度学校図書館の現状に関する調査」）

(%)

小学校	56.9
中学校	56.8
高等学校	95.1

イ 学校における新聞の活用状況

(ア) 授業での活用

国語、社会、総合的な学習の時間の調べ学習等で活用

(イ) 学校図書館での活用

新聞記事の掲示や切り抜きの作成保管、バックナンバーの配備、新聞専用の読書台の設置、新聞記事と関連図書を並べて展示、図書委員会での活用等

(ウ) その他

朝や帰りの会等での活用（スピーチの材料、気になる記事の発表）、朝学習や朝読書の時間での活用（記事の書き写しや記事に関するコメントの作成）、新聞コンクールへの応募等